

た ま ら ん

——もしもママ姉の
コートの下が
ノーブラだったなら

成人向
FOR ADULT ONLY



■ 十二月某日、

学校の行事で平日だけと休みに。

折角なのでタカ坊とデートに出かけた。

ちよつと悪戯してみたくなって、コートとセーターの下は

ノーブラという格好にしてみた。

相変わらず鈍感なタカ坊はしばらく気付かなかったけど、

電車の中で胸を押し付けると流石に気付いて焦ってた。

平日のラッシュアワワーの満員電車の中、

周りにバシない様に必死に庇ってくれるタカ坊は、とても健気で可愛い。



■ 平日昼間のゆったりとした家具展示場。
色々と家具を見るだけのつもりだったがけれど、
本当に人がいないので、ついついタカ坊を挑発。
タカ坊も我慢の限界だったのか、コートとセーターの上から、
ノーブラのおっぱいを思いっきり揉みしだいてきた。

窮屈な服の中に詰まった乳肉を
分厚い布越しに揉み解される感触は、
普段とかなり違って、なんだか凄く興奮した…。



■ 黒とブラウンのトーンで全身をまとめた服装。
真っ白な肌が覗いてるのは顔と手と胸だけ。
分厚い布の間から浮き出すようにこぼれる乳肉。
それを見ていると、自分が今どれだけ
はしたない姿を晒しているのか思い知らされる。

全身を暖かな布で覆っている癖に、
自分の一番弱い部分だけは、これ見よがしに露出させている。
そんな矛盾だらけのいやらしい格好に、
乳房の先は勝手に勃起して…



■ 胸だけを露出させた
はしたない恰好でいると、
自分の胸が段々だらしない形に
育ってきているのが自覚されてしまう…。

「おっ」

「おっ」



■ こんなにいやらしい体になったのは、
多分まだ成長の止まってない胸を
毎日の様にタカ坊に揉みしだかれたから…

おははは

今日も、タカ坊に
いっぱい育てて貰うため
物欲しげな視線を送ると、
タカ坊は手のひらでたぶたぶと
重みを味わった後、
憑かれた様な目で思いつきり
胸を揉みつぶしてきた…

おははは





■まるでパン生地を
力いっぱい
こねるみたいなの、
無遠慮な揉み込みを
されているのに、
私のはしたない胸は
痛みよりも快感を
訴えてくる。

■ 押し潰すみたいに思いつきり
上から左右から揉み込まれたり、
乳首を転がしながら
二つの乳房を擦り合わせられたり、
柔らかかな乳肉を掴み取るみたいに
強く伸ばされたり…

でも、乱暴におっぱいを
虐められる事すら
気持ちいいと感じてしまう程、
私の体はタカ坊に
開発され切ってしまった…



■ たつぷりと乳肉を虐めめいた後、
タカ坊は照準を私の敏感すぎる乳首に合わせできた。
お互いの舌を絡ませあいながら、
弾き続けられる両方の乳首。
息苦しさや乳首の刺激で、
胸の全体が熱く切なくなるみたい。

なんで体でも一、二を争う
敏感な部分が
こんな無防備で目立つ所に
ついてるのだろうか？
敏感すぎる突起をシゴかれ、
こねくり回され、
乳首でころころと
転がされ続けた揚句
甘噛みをされて…
いつもの様に
本当に呆気なく
私は乳首で絶頂を
迎えさせられた…



■一度イカされた後、
どちらが誘うでもなく、
トイしになだれこんでしまう。
タカ坊の長いおちんちんは
もう完全に勃起していて、
湯気が立つ位に熱くなっていた……

タカ坊の熱くて硬い
おちんちんの感触を
顔いっぱい感じていると
堪らなくなってきた
はしたない位の勢いで
むしゃぶりついてしまった……

■ タカ坊の長いおちんちんが
私の膣内を押し広げ、
奥の奥までエグリ上げる。
タカ坊のおちんちんが長すぎる所為か、
何度繋がつても、交尾の最初は
強烈な存在感に息が苦しい位。
大好きなタカ坊の形に、
自分の体を作り変えられていく
感覚を何度も何度も味わえて…本当に幸せ…



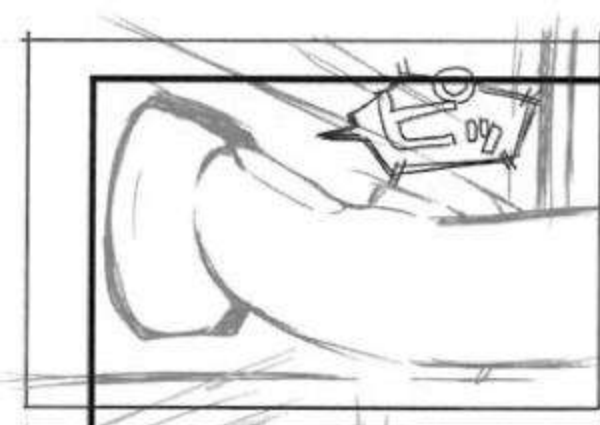
■ 限界が近づいてくると、
タカ坊はおまんこの深い所で
小刻みな早い動きをしてくる。
その動きは私の膣内で
一番弱い奥を
押し上げてきて、
同時に絶頂する様に
誘ってくるみたい。

最後に大きく一度引いた後、
一気に根元までおちんちんを捻じ込まれ
おまんこの一番奥に精液を注ぎ込まれ、
私も腰が蕩けるようなアクメをさせられた…。

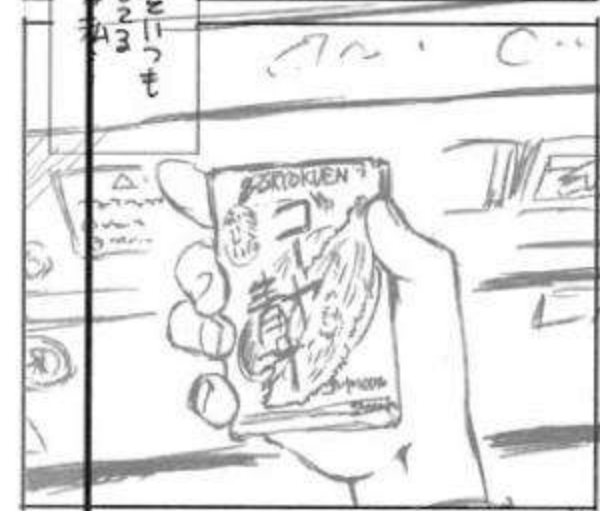


■ イッた直後の敏感な膣内を擦りあげながら、
タカ坊の長いおちんちんがゆっくりと引き抜かれ、
膣内にたっぷりと注がれた精液がこぼこぼと溢れ出す。
膣内に射精される快感は、何度味わっても堪らない…
安全な日は、いつもこうしてタカ坊には膣内射精をして貰う…
いつそこのまま妊娠できたら、と思う事も多いけれど、
後一年と少しの我慢なのだから、と私は自分を抑える…。





タカ坊と振りのかたはる
あんなに何ともしやせん
あんなに私……



タカ坊をいっつも
振り回してる
おれは……



タカ坊の味……
あんなに……



そ……そんなに
精液美味しい……?



いやその……
良いとか駄目とか
じゃなくて……



タカ坊の長くて
硬いおちんちんが
……



えっか

私……

……



ちゅばちゅば
しゃぶられたらっ

ふにやふにやに
されちゃうのよおっ♡

ダメえっ

おまんこ……
ほぐれちゃううっ♡



おッ

奥……

たっ
タカ坊ッ
じっとして
なごっ



ふえ？

ごめん……
でもまだだよ
タマ姉……!

いやあッ
駄目よお……

いったばっかり
なのに……

こ……こんな格好で
犯されたら……♡
私……お……
おかしくなっちゃうう……♡

うっ……
タカ坊がすっかり
ベッドヤクザに
なっちゃうてるうっ!?

後書

えー

ということで、
今回はちょっと秋に色々有り
ラフな薄い本1冊です…

コンセプトは夏の薄着シーズンの
爆乳さんたちを見かけるのもいいけど、
冬の厚着シーズンの爆乳さんたちも
それはそれでエロいよね！
一見普通のコート姿だけど、
良く見るとシルエットおかしくね！？
みたいな新鮮な驚きが
冬の日々には隠されていたりします。
それがましてタマ姉なら…
そういう妄想全開で
…まあ本当は漫画にしたかったのですが…
なんかまなネームが無駄に伸びて行って…
誰か…20頁くらいにまとめる技術を下さい…

と、ということで今回はこれにて
つ、次こそは…

瀬浦沙悟 拝 2011/12/31

-奥付-

誌名： 「たまぶら」
発行日： 2011年12月31日
印刷所： POPLSさん
発行者： 沙悟荘
瀬浦沙悟

発行者連絡先：
E-mail： ser@fx.sakura.ne.jp
HPURL： <http://www.fx.sakura.ne.jp/~ser/>

禁・無断転載・複製

たけなす